

## 目次

- 2 **巻頭エッセイ**  
上野理事長に聞く
- 4 **過去問に学ぶ**  
2音節語の声調の組み合わせ(1)
- 6 **語彙をふやそう**  
多音・多義字に挑戦(2)
- 8 **看图学成语**  
絵で見る成語(10)
- 10 **紛らわしい文法表現**  
“在黑板上写字”と“字写在黑板上”
- 12 **翻訳添削**  
どこがおかしい？なぜおかしい？  
——「日文中訳添削講座」から(16)
- 14 **新しいことばと古いことば**  
“黄”を冠した色彩語
- 15 **読者の広場**  
希望に向かって  
なぜ中検を受験したのか

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・  
複写・転載することを禁じます。

## 上野理事長に聞く

聞き手：『中国語の環』編集室

——30周年行事も無事終わりました。

無事とも言えませんね。あんな大きな災害があり、前年度末（2011年3月）の第74回の試験を中止せざるをえなかったのですから。

——中止は30年間で初めてのこと？

初めてです。関東以西では実施することも可能でしたが、一方で難儀しておられる時に、もう一方で何事も無かったかのように試験をとというのもどうかと思ひ……。この先も、なんて不吉なことを言うのは不謹慎ですが、何が起きても迅速かつ適確に対応できるよう態勢を調べておかなければいけませんね。

——記念講演会はいかがでしたか。

こちら前半の札幌、仙台、東京、静岡は諸般の事情を考慮して実施を見合わせました。5月の北京と秋以降の金沢、京都、福岡、名古屋、松山、広島、大阪は予定どおり実施しました。各地の学習者と直接に顔を合わせ、声を聞くことができたのは何よりの収穫でした。

中止せざるをえなかった会場やその他の地方においても、要望があれば順次実施していきたいと考えています。

——スコア式ビジネス中検が中止になりましたね。

「中止」ではなく「休止」です。ビジネス中国語学会の協力を得て8年間実施してきましたが、実施し始めた頃と現在とでは中国語学習環境や日中間のビジネス事情が大きく変わりましたので、これまでの試験内容や実施方法について、この辺で一度見直してみようということです。すでに受験された方やこれから受験しようと準備されていた方にはご迷惑をかけますが、ご理解くださることを願っています。

——でも、日中間のビジネス交流が盛んになった今日、あのような試験はあってもいいのではないですか。

だからこそ、「より慎重に」ということです。協会としては、上のような事情を勘案して、2級以上の出題について、実際に中国語が使われている環境から遊離した、教室だけの中国語にならないように心がけていきたいと考えています。

——準1級に二次試験を課することになるそうですね。

現在1級のみで課している口頭試問を下の級にも、手始めに準1級から課するということです。具体的な実施方法については1年間かけて検討し、来年度から実施する予定です。

——現行のままでは実力を測りにくいということですか。

そういうことです。上の級になりますと、実務等の現場での即応能力が問われる機会が多くなりますが、そういう力を測るには、現在の録音を利用したリスニング試験だけでは不十分であるということです。読む、聴く、話す、書く。オールラウ

ンドな力を保証するのが、私たちの検定試験の使命ですから。

実際、合格者の中には、聴く耳は確かだがいざ話すとなると……、という方がいらっしゃいます。

この点、受験者の方が意識が進んでいて、英語やドイツ語は二次試験があるのに中国語はなぜないのかという問い合わせがしばしば寄せられていました。せっかく合格したのに、ペーパーテストだけの試験だと周りから軽く見られるというのです。

——全会場で実施するのですか。

そこが頭の痛いところです。同一試験日に全会場に面接委員を配置するのは困難ですから、当面はいくつかの主要都市に足を運んでいただくしかなさそうですね。

——会場によって合否基準にばらつきが出たりはしませんか。

その点は慎重に対処しなければいけませんね。どこそこの会場は難しいそうだとか、易しいそうだとかの風評が立って混乱を招いたりしてはいけませんから。詳細なマニュアルを作成し、事前に十分採点基準を打ち合わせるなどの配慮が欠かせません。これらについては、理事会の下に専門の検討部会を設けて十分に検討し、詳細が決まりしだい、ホームページや「受験案内」でお知らせすることになっています。

——次の10年を聞かせてください。

10年先ですか。もう私が運営をあずかっている時代ではありませんし、ひょっとしたらもうあちらへ引越しているかもしれませんから、無責任な放言は控えさせていただきます。

実は5年前の25周年の時に、当時の受験者数は年間5万人でしたが、周りから次の10年で倍増の10万人を目指せとせきたてられました。私はそれは無理だ、拙速はいけないと「抵抗」して、1.5倍の7.5万人を目標に掲げたのですが、どうやら大外れで、5年間で目標を達成してしまいそうな勢いです。このままいけば、あと5年で確実に10万人を超えてしまいます。

——うれしい悲鳴ですか。

これまで7.5万人体制でいろんな準備を進めてきましたから、これが10万人となると、考え直さなければいけない面が出てきます。

たとえば試験会場にしても、全国同一日に安定した会場を確保するというのは、今でさえ非常に難しいことです。それがさらに受験者数が増えるとなると……。と、いって、まさか受験者数を制限して、受けたい人に順番待ちをしていただくわけにもいきませんしね。

ただ、私は受験者数が増えることを喜んでばかりいないで、洗練されたよい試験問題を作成し、また毎回発行している「解答と解説」もより充実したものにして、私が掲げている「公正で信頼性の高い検定試験を」の目標に一步でも近づくことが、何よりも大切であると考えています。

——最後に学習者にひとことを。

検定試験合格だけを目標にするのではなく、余裕をもって中国語の学習を楽しんでください。

## 2 音節語の声調の組み合わせ(1)

『中国語の環』編集室

中検4級および3級の試験において、これまでに声調の組み合わせを問う問題として出題された単語の一部を整理してみました。今回は名詞を中心に選んであります。いずれも基本的な語彙ばかりです。繰り返し音読して2音節語の声調の組み合わせを身に付けましょう。意味は各自辞書を引いて調べてください。

〈轻声について〉 轻声になる音節の前にはchuāng·huのように・印を付けてある。mǔ·qīnのように・印の後の音節に声調が付いているものは、その音節が場合によって轻声にも非轻声にも発音されることを示しています。

いくつできましたか？

以下はおよその目安です。

120語以上	90語以上	60語以上
3級レベル	4級レベル	準4級レベル

① 第1声+第1声

- 冰箱 bīngxiāng  
 餐厅 cāntīng  
 春天 chūntiān  
 飞机 fēijī  
 公司 gōngsī  
 工资 gōngzī  
 咖啡 kāfēi  
 星期 xīngqī

② 第1声+第2声

- 刚才 gāngcái  
 公园 gōngyuán  
 家庭 jiāting  
 今年 jīnnián  
 生活 shēnghuó  
 新闻 xīnwén  
 中文 Zhōngwén

③ 第1声+第3声

- 风景 fēngjǐng

 歌手 gēshǒu

- 黑板 hēibǎn  
 机场 jīchǎng  
 铅笔 qiānbǐ  
 身体 shēntǐ  
 思想 sīxiǎng  
 中午 zhōngwǔ

④ 第1声+第4声

- 车票 chēpiào  
 方向 fāngxiàng  
 工作 gōngzuò  
 鸡蛋 jīdàn  
 空气 kōngqì  
 商店 shāngdiàn  
 天气 tiānqì

⑤ 第1声+轻声

- 窗户 chuāng·hu  
 东西 dōng·xi  
 哥哥 gē·ge

 关系 guān·xi

- 机会 jī·huì  
 生日 shēng·rì  
 桌子 zhuō·zi

⑥ 第2声+第1声

- 房间 fángjiān  
 国家 guójiā  
 毛巾 máojīn  
 明星 míngxīng  
 南方 nánfāng  
 农村 nóngcūn  
 皮包 píbāo

⑦ 第2声+第2声

- 长城 Chángchéng  
 厨房 chúfáng  
 德国 Déguó  
 篮球 lánqiú  
 名牌 míngpái  
 同学 tóngxué

- 银行 yínháng  
 邮局 yóujú  
 ⑧ 第2声+第3声  
 传统 chuántǒng  
 词典 cídiǎn  
 结果 jiéguǒ  
 牛奶 niúǎi  
 啤酒 pǐjiǔ  
 苹果 píngguǒ  
 人口 rénkǒu  
 ⑨ 第2声+第4声  
 茶叶 chá yè  
 成绩 chéngjì  
 城市 chéngshì  
 国际 guójì  
 节目 jiémù  
 名片 míngpiàn  
 年末 niánmò  
 ⑩ 第2声+轻声  
 孩子 hái·zi  
 馒头 mán·tou  
 棉花 mián·hua  
 名字 míng·zi  
 朋友 péng·you  
 脾气 pí·qi  
 头发 tóu·fa  
 学生 xué·sheng  
 ⑪ 第3声+第1声  
 北京 Běijīng  
 果汁 guǒzhī  
 海关 hǎiguān  
 火车 huǒchē  
 剪刀 jiǎndāo  
 老师 lǎoshī  
 手机 shǒujī  
 ⑫ 第3声+第2声  
 导游 dǎoyóu  
 法国 Fǎguó  
 礼堂 lǐtáng  
 理由 lǐyóu  
 水平 shuǐpíng  
 演员 yǎnyuán  
 祖国 zǔguó  
 ⑬ 第3声+第3声  
 感想 gǎnxiǎng  
 老板 lǎobǎn  
 礼品 lǐpǐn  
 理想 lǐxiǎng  
 领导 lǐngdǎo  
 手表 shǒubiǎo  
 水果 shuǐguǒ  
 雨伞 yǔsǎn  
 ⑭ 第3声+第4声  
 比赛 bǐsài  
 感冒 gǎnmào  
 考试 kǎoshì  
 礼物 lǐwù  
 脸色 liǎnsè  
 领带 lǐngdài  
 米饭 mǐfàn  
 ⑮ 第3声+轻声  
 点心 diǎn·xin  
 耳朵 ěr·duo  
 饺子 jiǎo·zi  
 姐姐 jiě·jie  
 口袋 kǒu·dai  
 母亲 mǔ·qīn  
 晚上 wǎn·shang  
 小姐 xiǎo·jiě  
 眼睛 yǎn·jing  
 ⑯ 第4声+第1声  
 大哥 dàgē  
 蛋糕 dànɡāo  
 电梯 diàntī  
 故乡 gùxiāng  
 冠军 guànjūn  
 客厅 kètīng  
 面包 miànbāo  
 ⑰ 第4声+第2声  
 棒球 bàngqiú  
 大学 dàxué  
 地图 dìtú  
 后年 hòunián  
 季节 jìjié  
 课文 kèwén  
 面条 miàntiáo  
 ⑱ 第4声+第3声  
 办法 bànfǎ  
 报纸 bàozhǐ  
 电脑 diànnǎo  
 父母 fùmǔ  
 汉语 Hànyǔ  
 课本 kèběn  
 历史 lìshǐ  
 下午 xiàwǔ  
 ⑲ 第4声+第4声  
 变化 biànhuà  
 错误 cuòwù  
 电视 diànshì  
 动作 dòngzuò  
 对象 duìxiàng  
 饭店 fàndiàn  
 会议 huìyì  
 ⑳ 第4声+轻声  
 爸爸 bà·ba  
 豆腐 dòu·fu  
 护士 hù·shi  
 价钱 jià·qián  
 困难 kùn·nan  
 事情 shì·qing  
 岁数 suì·shu  
 态度 tài·du  
 钥匙 yào·shi

## 多音・多義字に挑戦(2)

『中国語の環』編集室(U)

前回に続いて今回も練習問題形式で多音・多義字にチャレンジしていただくことにする。

今回はこれまでに取り上げなかったものを中心に、多音・多義字を含む単語をペアで出題する。

いずれも中検3、4級レベルの基本的なものばかりであるから、まず自分の力で挑戦してみたうえで右欄の答えで確認し、間違えたものは辞書を引いて理解を深めてください。

単語としての意味と発音を知るだけでなしに、各組に共通して使われている多音・多義字の音と義の違いをきちんと押さえて整理しておくこと。

整理の仕方については、『中国語の環』第86、87、88号に分載した「多音・多義字を含む単語」(1)(2)(3)を参照するとよい。

全部で25組50語あるので、ピンイン、意味各1点で自己採点し、実力を測ってみてください。

### あなたの語彙力は？

以下はおよその目安です。

70点以上	50点以上	30点以上
3級レベル	4級レベル	準4級レベル

	ピンイン	意味			
(1)	{ a 几乎 □[ ] □[ ] b 几时 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(1)	{ a jīhū      ほとんど、大体 b jǐshí      いつ	
(2)	{ a 假如 □[ ] □[ ] b 放假 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(2)	{ a jiǎrú      もしも、かりに b fàngjià    休みになる	
(3)	{ a 房间 □[ ] □[ ] b 间隔 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(3)	{ a fángjiān    部屋、ルーム b jiàngé      隔たる、隔てる	
(4)	{ a 将来 □[ ] □[ ] b 大将 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(4)	{ a jiānglái    将来 b dàjiàng     大将	
(5)	{ a 降温 □[ ] □[ ] b 投降 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(5)	{ a jiàngwēn    気温が下がる b tóuxiáng    投降する	
(6)	{ a 睡觉 □[ ] □[ ] b 觉得 □[ ] □[ ]	{ □[ ] □[ ] □[ ] □[ ]	(6)	{ a shuìjiào    寝る、眠る b jué·de      感じる、覚える	

(7) {	a 结实 □[ ] □[ ]	(7) {	a jiē·shi 丈夫である
	b 结婚 □[ ] □[ ]		b jiéhūn 結婚する
(8) {	a 禁止 □[ ] □[ ]	(8) {	a jìnzhǐ 禁止する
	b 不禁 □[ ] □[ ]		b bùjīn 思わず
(9) {	a 看病 □[ ] □[ ]	(9) {	a kànbìng 看病する
	b 看护 □[ ] □[ ]		b kānhù 看護する
(10) {	a 天空 □[ ] □[ ]	(10) {	a tiānkōng 天, 空
	b 空白 □[ ] □[ ]		b kòngbái 空白, ブランク
(11) {	a 露面 □[ ] □[ ]	(11) {	a lòumiàn 人前に顔を出す
	b 暴露 □[ ] □[ ]		b bàolù 暴露する
(12) {	a 快乐 □[ ] □[ ]	(12) {	a kuàilè 楽しい
	b 音乐 □[ ] □[ ]		b yīnyuè 音楽
(13) {	a 埋头 □[ ] □[ ]	(13) {	a máitóu 没頭する
	b 埋怨 □[ ] □[ ]		b mányuàn 愚痴を言う
(14) {	a 闷热 □[ ] □[ ]	(14) {	a mēnrè 蒸し暑い
	b 苦闷 □[ ] □[ ]		b kǔmèn 悩む, 苦悶する
(15) {	a 模范 □[ ] □[ ]	(15) {	a mófàn 模範, 手本
	b 模样 □[ ] □[ ]		b múyàng 様子, 格好
(16) {	a 难过 □[ ] □[ ]	(16) {	a nánguò つらい, 悲しい
	b 灾难 □[ ] □[ ]		b zāinàn 災難
(17) {	a 唱片儿 □[ ] □[ ]	(17) {	a chàngpiānr レコード
	b 卡片 □[ ] □[ ]		b kǎpiàn カード
(18) {	a 奇怪 □[ ] □[ ]	(18) {	a qíguài 変だ, おかしい
	b 奇数 □[ ] □[ ]		b jīshù 奇数
(19) {	a 弯曲 □[ ] □[ ]	(19) {	a wānqū 曲がっている
	b 歌曲 □[ ] □[ ]		b gēqǔ 歌, 歌曲
(20) {	a 少数 □[ ] □[ ]	(20) {	a shǎoshù 少数
	b 少年 □[ ] □[ ]		b shàonián 少年
(21) {	a 相信 □[ ] □[ ]	(21) {	a xiāngxìn 信じる
	b 照相 □[ ] □[ ]		b zhàoxiàng 写真を撮る
(22) {	a 校长 □[ ] □[ ]	(22) {	a xiàozhǎng 校長, 学長
	b 校对 □[ ] □[ ]		b jiàoduì 照合する
(23) {	a 需要 □[ ] □[ ]	(23) {	a xūyào 必要とする
	b 要求 □[ ] □[ ]		b yāoqiú 要求する
(24) {	a 应该 □[ ] □[ ]	(24) {	a yīnggāi …すべきだ
	b 适应 □[ ] □[ ]		b shìyìng 適応する
(25) {	a 着急 □[ ] □[ ]	(25) {	a zháojí 焦る, いらだつ
	b 着重 □[ ] □[ ]		b zhuózhòng 重きを置く

### 絵で見る成语 (10)

絵・張恢

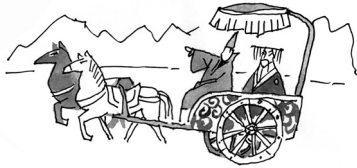
文・『中国語の環』編集室



**穷途末路** qióng tú mò lù  
行き詰まる；窮地に陥る。袋小路に突き当たる。



**曲意逢迎** qū yì féng yíng  
自分の意志を曲げて相手の気に入ろうとする；不本意ながら承服する。阿諛（あゆ）追従する。



**取而代之** qǔ ér dài zhī  
取って代わる。始皇帝の行列を見物した項羽が発したことは“彼可取而代也”（あいつに取って代わってやる）から。『史記・項羽本紀』に見える。



**取之不尽** qǔ zhī bù jìn  
取れども尽きず；いくら使ってもなくなることはない。よく“用之不竭”（yòng zhī bù jié—用れども尽きず）と連用される。



**群魔乱舞** qún mó luàn wǔ  
群魔乱舞す；多くの悪人どもが跳梁（ちょうりょう）する。百鬼夜行。



**热火朝天** rè huǒ cháo tiān  
熱気が天を焦がす；活気あふれるさま。多数の人が参加する仕事や運動について用いる。





人浮于事 rén fú yú shì  
 人の数が仕事の量よりも多い；仕事  
 が少なく人が余っている。人員過剰  
 である。



任重道远 rèn zhòng dào yuǎn  
 任重くして道遠し；まだまだ重責を  
 負い続けなければならないこと。『論  
 語・泰伯』に見える曾子のことば“任  
 重而道远”から。



如虎添翼 rú hǔ tiān yì  
 虎に翼を添えたよう；もともと威力  
 のあるものが、さらに威力を加える  
 こと。鬼に金棒。得手に帆を揚げる。



如坐针毡 rú zuò zhēn zhān  
 針のむしろに座るよう；気持ちが休  
 まらないこと、心が落ち着かないこ  
 とのたとえ。居ても立ってもいられ  
 ない。



乳臭未干 rǔ xiù wèi gān  
 乳臭さがまだ抜けない；若くて未熟  
 なことをいう。乳臭い。くちばしが  
 黄色い。尻が青い。



弱肉強食 ruò ròu qiáng shí  
 弱肉強食；弱い者が強い者の餌食と  
 なること。弱者が強者の犠牲にされ  
 ること。強い者が勝ち栄えること。

## “在黑板上写字”と“字写在黑板上”

日本中国語検定協会評議員・文京学院大学 魯 晁琨

“在+場所”(以下“在L”と記す)は動詞の前に位置する“在L-V”と動詞の後に接する“V-在L”という二種の使い方があります。両構造の差異についての解釈はずっと教育現場の難問でしたが、研究が進んできたことによりだいぶ解明されたと思います。まず、同じ“在L-V”と“V-在L”でも動詞が動態的な動作であるか、状態的な動作であるかということによって、両構造の差異も違ってくることが分かりました。そのため、“在L-V”と“V-在L”を以下の二つに分類します。

1 “在L-V動”と“V動-在L”(“在黑板上写字”と“字写在黑板上”)

2 “在L-V状”と“V状-在L”(“在沙发上坐着”と“坐在沙发上”)

今回はこのうち1の“在L-V動”と“V動-在L”について考えていくことにし、2の“在L-V状”と“V状-在L”については、次回に取り上げることにします。

まず、“在L-V動”の例文を見てみましょう。これには二種類あって、A類、B類とします。

A類

(1)孩子在院子里玩儿。(子供は庭で遊ぶ。)

(2)学生在食堂里吃饭。(学生は食堂で食べる。)

B類

(3)老师在黑板上写字。(先生は黑板に字を書く。)

(4)他们在酒里掺水。(彼らはお酒に水を混ぜる。)

A類は動作がある場所で行われている際、その動作主も同じ場所にいます。一方、B類は動作がある場所で行われている際、その動作主は同じ場所にはいません。例(1)では“玩儿”という動作が“院子里”で行われている際、“孩子”も当然“院子里”にいますが、例(3)では“写字”という動作が“黑板上”で行われている際、“老师”は“黑板上”にはいません。先生は黑板を踏みながら黑板に字を書くわけではありませんから。B類のもう一つの特徴として、動作の結果として受動者が動作の場所に残ることがあります。例(3)では“写”という動作が終わると、“字”が自然に“黑板上”に残るわけです。このような違いは日本語の訳文に反映され、A類の“在”は「で」、B類の“在”は「に」と訳します。

A類とB類はこのような違いがあるにもかかわらず、両方とも“在L”が“V動”の前に位置する“在L-V動”構造です。それはA類とB類に一つの共通点があるからです。すなわちA類でもB類でも“在L”は動作行為の成立する場所を表しています。“在L”は動作の成立する場所のみ示しているため、動作主がその場所にいるかどうか、また、受動者がその場所に残るかどうかは考慮されていません。

しかし、“在L-V動”を“V動-在L”に変換すると、A類とB類の違いがは

つきりします。A類は“V動-在L”に変換することができませんが、一方、B類は動作主を省けば、“V動-在L”に変換することができます。例(2)(3)を“V動-在L”に変換した結果を見てみましょう。

(5)学生在食堂里吃饭。 \*学生饭吃在食堂里。 \*饭吃在食堂里。

(6)老师在黑板上写字。 \*老师字写在黑板上。 ○字写在黑板上。

次に“V動-在L”について考えてみましょう。こちらも二種類あって、C類、D類とします。

C類

(7)字写在黑板上。(字は黑板に書かれる。) ○老师在黑板上写字。

(8)水掺在酒里。(水はお酒に混ぜられる。) ○他们在酒里掺水。

D類

(9)孩子掉在坑里。(子供が穴に落ちる。) \*孩子在坑里掉。

(10)雨点打在窗户上。(雨が窓ガラスを打ちつける。) \*雨点在窗户上打。

“V動-在L”では“在L”は動作の結果としての関与者(動作主または受動者)の到達位置を表します。例(7)では、“黑板上”は“写”という動作による受動者である“字”の到達位置を表し、例(9)では、“坑里”は“掉”という動作による動作者である“孩子”の到達位置を表します。ここで“V動-在L”を“在L-V動”に変換すると、例文で示しているように、C類は変換できるが、D類は変換できません。それは“在L-V動”では動作は動作主がコントロールできるものでなければならないからです。C類の動作はこの条件を満たしていますが、D類は満たしていません。

以上をまとめると、以下の二つのことが言えます。一つ目は“V動-在L”も“在L-V動”も成り立つ条件は、動作は動作主がコントロールできるものであり、また、動作の結果として関与者が動作した場所に残る場合であるということです。二つ目は両構造とも成立しうる場合でも、“在L”の働きが違うということです。“在L-V動”では“在L”は動作行為が成立する場所ですが、一方、“V動-在L”では“在L”は動作の結果としての関与者の到達位置です。このことを示す典型的な例として、“在黑板上写字”と“字写在黑板上”がよく取り上げられています。両方とも成立する条件を満たしています。“在黑板上写字”では“在黑板上”は“写”という動作の成立する場所を示しているのに対し、“字写在黑板上”では“在黑板上”は“字”の到達位置を示しています。“在黑板上写字”も書き終わったら字が黑板に残ることは残りますが、この構造では“字”の到達位置に焦点を当てず、背景にしたわけです。一方、“字写在黑板上”も誰かが字を書くという動作がなければ、“字”が黑板に到達することはできませんが、この構造では動作を背景にしたわけです。この結論を応用し、次の例(11)と(12)の違いを自分で説明してみてください。

(11)我妈妈在银行存了很多钱。(母は銀行にたくさんのお金を預けた。)

(12)我妈妈的钱存在银行里了。(母のお金は銀行に預けた。)

参考文献：

木村英樹(2011)「中国語文法研究にみる認知言語学の成果と課題」『中国語学』258号

## どこがおかしい？なぜおかしい？

——「日文中訳添削講座」から（16）

### (64) 売店に行ってコーヒーを買ってきてくれませんか。

連動式述語文を作ります。連動式述語文とは、1つの主語に対して述語部分が2つの動詞または動詞フレーズからなっている文のことです。

「コーヒーを買う」という部分で、コーヒーの量詞（助数詞）が抜けている答えが多くありました。その対象とする物の数を、両者がともに理解している場合は量詞は不要ですが、問題文のように数がいくつか指定する必要がある場合は量詞が必要です。本問では、コーヒーの容器によって“买一杯（瓶／袋／罐）咖啡”のように量詞は異なります。また“一”は省略することも可能です。

依頼の表現としては、可能かどうかを聞く助動詞“能”がもっとも適当であり、“能不能”を用いて尋ねるのが自然だと思います。“请”を文頭につけている答えもありましたが、問題は「…してくれませんか？」であり、“请”を使う場合は「…すること」が初めから要求された形となり、少しニュアンスが変わってきます。

《参考訳文》 你能不能去小卖部给我买杯（瓶／袋／罐）咖啡？

你可不可以去小卖部给我买杯（瓶／袋／罐）咖啡？

### (65) 彼はそれを聞くやいなや、ものも言わずに立ち去った。

「それを聞くやいなや」は「それを聞くとすぐに」という意味ですので、“一……，就……”という連続関係を表す複文を作ります。この“一”“就”のどちらかを落としてしまっている答えが多く見られました。

“一听了那句话”のように、動詞の“听”をそのまま使った答えがありましたが、“那句话”と客語（目的語）を伴う場合には結果補語をします。日本語の「聞く」は比較的意味が曖昧で、そのことが自然と「聞こえる」場合も「聞く」「聞こえる」ですが、中国語ではそのことが「耳に入る」という意味では“听到”を使います。

《参考訳文》 他一听到那句话（那件事／那个消息），什么也没说就走开了。

### (66) どんなに苦しい時でも、彼はへこたれたことがない。

ここでは“即使”を使った構文は使えません。言いたいのは「想定されるあらゆる状況においても、一貫して…である」ですから、“不管……，都……”または“哪怕……，都……”を使います。

「どんなに苦しい時でも」を“怎么艰难也……”と訳した答えがありましたが、これは「いかに多くの困難があっても」と解して、“多”または“多么”を使います。「へこたれる」の訳も難しいですが、“不气馁（消沉／泄气）”が良いでしょう。“气馁（消沉／泄气）”は「力がなくなる、意気消沈する、気を落とす」意味ですから、

その否定形は「逆境にあってもあきらめない」というニュアンスになります。“没有精疲力尽”という使い方は一般的ではありません。否定表現にせず、そのまま“精疲力尽”で“精魂尽き果てた”様子を表す時に使います。また“你不要没精打采”は言えますが、日常会話でのみ使われ、今回のように客観的に人の性格を説明するような場合には“不气馁（消沉／泄气）”の方がより適当でしょう。

《参考訳文》 不管多困难，他从来都不气馁（消沉／泄气）。  
哪怕多艰辛，他都没气馁（消沉）过。  
哪怕多艰辛，他都没泄过气。

(67) 自分で水の中に入って、はじめて泳ぎを覚えることができる。

“只有……，才……”（…して、はじめて…）を用いて唯一条件を表す複文を作ります。この表現方法は皆さんほぼ理解されていました。

「自分で」の訳として“亲自”を使った間違いが見られました。“亲自”は「自らが進んで、敢えて…する」という意味が強く、問題文のように自分が主体となつてある行動を取る場合には“自己”を使います。「水の中に入る」は“下水”です。“进水”は「水が進入する、水が入ってくる」という意味で使われます。よって“进入水”“进入水里”もここでは間違った使い方となります。「泳ぎを覚える」の「覚える」は、習ってそれができるようになる意ですから“学会”が正解です。“记得”“记住”とした答えがありましたが、これは「記憶する」となりますから誤りです。原文の意味をきちんと把握することが大事です。

《参考訳文》 只有自己下水，才能学会游泳。

(68) 病後の回復がおもしろくないにもかかわらず、彼は研究を再開した。

“虽然……，但是……”“尽管……，可是……”（…ではあるが、しかし…）などを用いて逆接関係を表す複文を作ります。

「回復」は普通“恢复”または“康复”で訳しますが（“回复”は使えません）、「回復がおもしろくない」は“恢复得不怎么好”“康复得不太好”のように様態補語を用いて表現することができます。また“病后的恢复不太好”“病后的康复还不令人满意”のように“恢复”や“康复”を主語とした答えも正解としました。

「再開する」は“再開”と直訳することはできません。本題は“又开始”“重新开始”のように意識する必要があります。ここの“又”または“重新”という副詞は必要ですが、誤って“再”を用いた答えが多くありました。“又”と“再”は使い分けが難しいので、ここで両者の区別を覚えてください。“又”は本題のように既に行われた動作や行為が繰り返されたことを表すのに用い、“再”は“我再告诉你一个好消息。”のように未来における動作や行為の繰り返しを表します。

《参考訳文》 虽然他病后恢复得不太好，但已经重新开始研究了。  
尽管病情还没有痊愈，可是他又开始投入研究工作了。

（文責：高部千春）

## “黄”を冠した色彩語

日本中国語検定協会評議員・共立女子大学 李鍾強

今回は“紅”“黒”“青”に続き“黄”を拾ってみよう。

“黄”は甲骨文においては黄色の玉石を意味するが、後に語義が拡大されて広く黄色を指すようになった。また、『説文解字』は“黄”は「地の色なり」と解説している。中国に行ったことのない方には理解しにくいかもしれないが、中原の大地は一面黄色い土壌そのものであり、“黄土地”は中国の文化や民俗を比喻することばとしてよく用いられる。

中国の伝統的な観念によれば、“青、赤、黄、白、黒”という「五色」が「東、南、中、西、北」という「五方」に配されるが、“黄”が「五方」の“中”に当たるので、古代の人はこの“中央正色”を「尊い色」と見做した。“皇帝”という言い方は、本来、この尊い色で帝の徳を讃える意味で用いられた。唐朝になると“黄袍”（天子の着た黄色い服）が皇帝の身分の象徴となる。清朝に至るまでの時代は、色で貴賤や階級を示そうとしたが、黄色は皇帝に独占され続け、天子を象徴する色として尊ばれていた。

皇帝は自分の好みに合わせて、この世の五色を使用できるという特権を用いながら、“黄布”“黄紙”を仏教徒、道教徒に下賜して使わせていた。“黄卷青灯”は出家者の生活を喩える俗語だが、その“黄卷”は仏教や道教の経典を指している。現在でも道士の着る服や装飾、仏教建築に黄色が使われている。

しかし、ヨーロッパを中心とするキリスト教の社会では黄色い服を着ることは、反逆者という意味になり、中世では嫌悪すべき最低の色と見做されていた。やがて、中国封建社会の崩壊とともに西洋文化が流入すると、黄色は淫猥、エロ・グロ、下品さの象徴となってしまった。エロ小説は“黄色小説”，ポルノビデオは“黄色录像”，ポルノサイトは“黄色网站”，ポルノ製品の製造・販売や、賭博をしたり、麻薬を販売することを“黄賭毒”という。近年、中国ではこうした“黄色文化”を一掃する運動が繰り返されているが、これを“扫黄运动”という。

他に口語では“黄”が「物事がだめになる」という意味でも用いられる。“那家商店黄了”は「あの店がつぶれた」ということである。「約束がおじゃんになる」こと、特に縁談がこわれた場合、“黄了”という語が用いられる。例えば、“他们都相恋两年了，怎么会黄了呢？”（彼らは2年も交際したのに、どうして別れてしまったのだろうか。）

最後に“黄”で合成された常用語を挙げておこう。“春节”および“国庆节”の祝日は、通常、7日間連続して休まれるが、この期間を“黄金周”（ゴールデン・ウィーク）という。“黄道吉日”は日本語でも使われるが、何事をなすにも吉という日を指す。“黄昏恋”は文字通り「たそがれの恋」の喩えである。

### 希望に向かって

石橋愛美

2007年3月、私は初めて中検を受けてみました。初めは特に深い意味があった訳でもなく、ただ今まで学習してきた、合格できるだろうか？という気持ちでした。

元々、外国語には興味があった為、専門学校も英語の学校にし、趣味として中国語も習っていたのです。準4級から始めたのですが、最初のうちは順調に合格していきました。2007年11月4級合格、2009年3月3級合格、どちらも1度は落ちてしまいましたが、2度目には合格できました。今にして思えば、3級までは合格できるのが当たり前だったのかもしれませんが。本当に難しくなるのは2級からでした。けれども、この時の私は、また2、3回受ければ受かるものだと思っていました。ここから、長い道のりが始まったのです。

順調のように見えた中検合格に影が差し始めてきました。得意だったリスニングも点が全然取れず、結果は最悪でした。そんな状態が続いたので、周囲から、もうあきらめた方がいい、時間もお金も無駄、才能ないんだよとまで言われました。3級まででやめておけば良かったかなと、何度も思いました。

どうすればいいだろうと悩んでいたある日、検定試験の対策をしてくれる教室を見つけました。私は迷わず入りました。そこで初めて、学習方法を変える必要があることに気が付いたのです。2級からは、正確さが求められるので、今までのように、何となく分かるや、ちょっと知っているでは全く取れません。個人的な意見ですが、リスニングは、余裕で全部聞き取れるようにならなくてはなりません。筆記は語彙が3000くらい必要と思いました。リスニングが取れなかったのは、やはり語彙力不足だからであり、語彙力があればリスニングも点が取れるのです。また、文法もしっかりやる必要があります。文法力は、読み書きにも欠かせません。どれかが欠けても良くありません。

学習方法を変えて3か月ほどすると効果がでた訳ですが、それでもまだまだ合格基準には届かずにいました。早く受かりたいと思えば余計に焦ってきます。勉強している人なら、たいてい壁にぶつかるでしょうが、私もまた行き詰まりや、2級の壁の高さを感じていました。外国語というのは、簡単にはできないことを常に思い知らされます。

やがて、進歩の兆しが見えてきました。2011年11月の結果で初めてリスニングだけは合格できました。希望に向かって進み始めたのは、最初に2級を受けた時から2年以上たってからでした。私は今、いつか本当に合格して、1級まで取れる日を夢見ています。

2007年から今まで、ほぼ毎回受けています。今回は、今まで受けてきての感想を書きました。

## なぜ中検を受験したのか

鈴木高弘

60代半ばを過ぎたが、現職の高校校長として勤務している。今年（平成23年）一念奮起して中国語検定に挑戦し始めた。最近中国を訪れる機会が多くなったが、中国語を学習しようという気持ちは乏しかった。しかし、中国現地の目覚ましい発展や変化、外国人への開放が進む地方の姿を見ている内に、意識に変化が生じた。

私は年齢的に限界を超えているけれど、生徒の未来はこれからなのだから、日中関係の将来を考えれば、英語に次ぐ大言語として中国語を学ばせることは決して無駄ではない。

私の勤務校は大学附属の高校なので、学校魅力化策として一定の学習成果を検証できれば、大学の外国語単位として先取り認定して貰えないかと以前から考えていた。しかし具体案を伴わない提案では、大学側を説得するのが難しい。それが、先ずは私自身中国語検定を体験してみようと考えた理由である。

言語は早く学び始めた方が身に付き、使いこなすことで夢が大きく広がる。中国語検定受験を決意したときから、自校の講座を利用しながら独自の学習プランを立てた。同時に、自分が受験することを教員や生徒に公言し始めた。校長訓話、職員会議、ブログなどでも。つまり退路を断って、我が身を受験に追い込んだのだ。

3月試験が大震災で中止になったことで、6月受験への時間的なゆとりが生まれ、4級を何とか突破できた。その喜びに浸る間もなく、当面の目標である3級の受験準備に取りかかった。一日、2時間以上の学習、通勤時はリスニング対策、懲りもせず、再び「中検3級を受ける」という決意を全生徒に公言した（英検受験者へのエールの意味もある）。出勤後の1時間、帰宅途中で1時間以上……、頭脳明晰な若者とは違って老いの身には努力しかない。

その試験が先日終わり、途端に気が抜けた状態になった。学ぶことの楽しさを十分体験し、時間の使い方にも無駄がなくなった。

世は「韓流」ブームであるが、私はいまこそ中国語を学校現場に定着させなければと確信している。生徒のためを考えれば、個々の教師自身も学び続ける姿勢が必要だ。合格することではない、学ぶことが大切なのだ（3級不合格時への言い訳……）。12月1日

『読者の広場』への投稿を募集しています。中国語に関する事、検定試験に関する事等、400字～1,000字程度でお寄せください（Eメール、郵便ともに可）。採用された方には、記念品を進呈します。

なお、ご投稿いただいた原稿を掲載するにあたり、編集室側で若干の加筆・修正をさせていただきます場合がございます。予めご了承ください。